

ユーモアスピーチ船橋

2015 (H27) 年 7 月 9 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

113 回船橋ユーモアスピーチの 2015 年 7 月 9 日 (木)

船橋中央公民館 15:00~17:30

テーマ 3 分スピーチ

「いい加減」「憂鬱」「失敗談」「自由題」

ロングスピーチ

「NHK大河ドラマ「花燃ゆ」

ヒロインを巡る人間模様 入江清之さん

6 月参加者：飯野、入江、稲葉、工藤、佐藤、関岡、田谷、

中島、中道、山中、山田、植野、町田、原田、長嶋、岩寺

ロングスピーチ

第 102 号主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：原田公平

274-0812 船橋市三咲 5-20-36

T/F047-447-8705

chibaharadakohei@yahoo.co.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

「四国八十八か所巡礼」行脚して

原田公平さん

お四国参り、お遍路さん、八十八か所といえば、日本人なら誰でも知っていて、いつかは回ってみたいと思っている。しかし、「八十八か所」とはについて、意外に「？」が多い。

ボクは「八十八か所」の 1 番札所にある、徳島の生まれ。子供のころ寒い冬が終わり、菜の花が咲くとお遍路さんが歩きだし、菜の花とお遍路さんに「南無大師遍照金剛」は、ボクの子供の頃の風景であった。

かつては不治の病や大きな悩みを持って巡礼し、行き倒れする人も多かったという。しかし、時代は大きく変わり、今や「四国遍路」はレジャー化している。

四国遍路とは

日本人が一番知っているお坊さん、弘法大師、すなわち空海 (774~835) は讃岐で生まれ、亡くなった後、弟子たちが空海の修行をした場所や寺を訪れるというのが、原点である。

空海は中国、唐に渡り、密教・真言宗を学び、奈良から遷都した京都に新しい仏教を開き、東寺や高野山で活動する。

江戸時代中期、真念という土佐の真言宗の僧が 20 数回巡り、1 番から 88 番まで札所 (寺) と番号を設定し、初めての案内書がつくられ、道路指標や泊まれる『庵』など



を設置した。(京や大阪に近い阿波が 1 番に設定する)

近代では女性運動家、新聞社の記者として高群逸枝が歩き『娘巡礼記』を新聞に連載した。俳人の種田山頭火なども歩いている。

道路が整備され、四国に橋が架かり交通機関の発達でお遍路が誰でも行けるようになった。

そんな中で、若者や外国人が「歩き」に挑戦、また、定年退職者がこぞって「歩き」に挑んでいる。昭和一桁や二桁生まれの人が定年後、「先祖の供養」「自分探し」「健康」や「癒し」「四国には各地で消えゆく日本がある」など一般化したのは、つい最近のことで、巡礼者は年間 10～20 万、歩き遍路は 2～3 千人と推定される。

「八十八か所」は四国四県にまたがり、1 番札所のある阿波の徳島は 23 寺『発心の道場』、土佐の高知は 16 寺『修行の道場』、伊予の愛媛は 26 寺『菩提の道場』、讃岐の香川は 23 寺『涅槃の道場』と呼ばれ、88 番大窪寺まで、全長は約 1100 ㎞ある。

いつ頃だろう、お遍路さんしたい、八十八か所を歩いてみたい。

定年が見えてきた頃、いつしかボクの人生目標の 1 つになっていた。

そしてスタートはボクの故郷、徳島県内から

2005.5.9～12 1 番～17 番 79 ㎞

2006.9.26～27 18 番～23 番 75 ㎞

高知県を

2009 年 11 月 3 日～8 日 24 番～30 番を歩いた。当時は 60 歳代でジョギングを日課としていて、体力には自信があった。

この後、ピースボートに魅せられてお遍路は忘れられていたが、いつかはと思っていた。

そして今回、意を決し、6 年間のブランクがあったが巡礼シーズンのピークの去ったゴールデンウイーク明けから再開した。年も 70 歳代に入っていた。

70 代で味わった、我が人生最大の苦痛の日々と希望

新宿を 2015 年 5 月 7 日の夜行バスで立ち、翌朝、高知市に着き、5 月 8 日、♪♪坊さんかんざし買うをみた♪♪の 31 番竹林寺から始まる。さわやかな五月晴れ、この日の予定は 31 番、32 番、33 番、34 番まで約 30 ㎞行程で快調に歩く。途中、仲間もできる。

5 月 9 日 2 日目は 20 ㎞の予定だが雨の中を出発する。早々に道を間違えてしまった。35 番清滝寺は山頂にあり山道を登り、最後にまた長い石段、一気に疲れが出た。

36 番青龍寺までは 14 ㎞、またまた道を間違えてしまった。途中、2.6 ㎞もあるトンネル、車の騒音の激しさ、うんざりする。やっと対岸に渡る朱塗りの宇佐大橋が見えてきたが雨が激しくなり、橋のたもとのファミリーマートで休憩と雨宿りをする。



小降りになり出発、寺の手前、今夜のホテルに荷物を置いて清龍寺参り、空身だが 128 の石段には疲れ果てた。その夜は温泉宿で値段も高かったが快適だった。フロントで針と糸をもらい、両足裏の豆に針で穴を開け、糸を通す。

5月10日、3日目は快晴だが、足の豆の痛みが強烈だ。一步毎に脳天に突き抜ける。歩くしかない、無視してひたすらに歩く。すると痛みはマヒしてくる。しかし休憩して歩き出すと、激痛が始まる。途中のコンビニで閃いた。手荷物を軽くしよう、必要最低の物に絞り、タオルケットやパジャマ、スペアーの靴も自宅へ帰してしまった。(後で、これが大失敗)



この日は山越えである。行けども行けでも登り道が続く。水が切れてしまった。万事休すである。遂に、トラックを止めて乗せてもらうがすぐに頂上で降りて下りを歩く。民家で水を布施してもらう。

夕方、疲れ果てて道端で座っていると軽トラックのおじさんが親切に宿の世話をしてくれ、お接待といって千円も置いて行った、涙が出た。

5月12日、37番の岩本寺の民宿に泊まる。翌日は台風6号の接近で天気が大荒れすると、5月13日は休養日にする。



美人の女将さんとお遍路仲間たち

5月14日から88か所で最長の38番、足摺岬の金剛福寺を目指す。途中で民宿、久百々(くもも)に泊まる。ここは2日後に通るので荷物の大半は預けて行く。

5月15日、金剛福寺を終えて、そこで泊まる。

5月16日、またまた雨の中を久百々(くもも)の民宿を目指す。民宿の間近に来て、靴の底がはがれてしまった。そして片方も半分がはげかかっている。近くの工場のお兄さんに針金で応急処置をしてもらい、バスで民宿にもどる。親切な女将さんが靴をドライヤーで乾かしてくれセメダインをもらいつけたが、接着できなかった。スペアーの靴もおくりかえしている。足の豆も身体も馴染んで後、1日で高知が終えれたが、今回はここまでと切り上げる。

今回、2015年5月8日～17日 31番から38番まで、約200^{キロ}を歩いた

70代で、日々20～30^{キロ}の歩きは体力の限界への挑戦だった。こんなに苦しかった歩き、足の痛み、全身の筋肉痛、まさしく満身創痍だったが、一晚寝たら翌朝には体力が戻り、1日中歩けた。

今回のお遍路で自信が戻ってきた、挑戦の大切さを実感した今回のお遍路さんだった。

6月テーマ「クールジャパン」「スマホ」「失敗談」「自由題」

工藤文夫：「10年住んだらいろいろ壊れた」今のマンションに引っ越して来月で丸10年になりますが、今年になって私の心臓のように、次から次に故障しました。年初にIHヒーターの魚焼き器の部品が漏電の原因となり、修理費3万円。翌月、風呂のTVが故障。買い換えで7万円（月払いで返済中）。3月には、流しのディスポージャーが動かなくなりました。見積もりが13万の現金払いといわれ、さすがに支払不能。昔の三角の生ゴミ入れに元通り。そんな折り、今度は呼鈴が鳴らなくなり、電池切れかと思いきや、今どきのベルは大変複雑な構造で、素人にはとても修理できる代物ではなく、見積りも、いくらかかるか不明といわれました。現状「呼鈴故障！ノックしてください！」の文章をドアに貼っています。次は何が壊れるか？？毎日ビクビクして生きています。

飯野 望：『スマホ』最近のスマホは技術が上がり、自動メールや、通訳、さらには自動川柳や本音トークショーまでやってくれる物もありますが・・・困ることも出てきますね。

田谷正明：[クールジャパン]日本の誇れるもの、と解釈して。海外旅行をして“日本はすごい、素晴らしい”と思うのはウオシュレットです。30年も前のことですが、毎晩夜遅くまで飲んでいたため痔が痛くて困っていました。座薬のボラギノールを毎日、年400個くらい使用していました。友人から「痔にウオシュレットが良いよ」と教えられ薬にもする気持ちで購入。半年もしないうちに痛みが消え、ボラギノールともおさらば出来ました。現在ヒマで困ってますので世界にウオシュレットを普及するボランティアをしたいくらいの気持ちです。ただ最近進化し過ぎて人を感知してふたが自動的に開くのは気味が悪いですね。現在危惧しているのは将来ボケて朝、ウオシュレットで顔を洗うようになることです。

山田正國：忘れ物 市が催す高齢さのためのリハビリ 団塊の方々が定年を迎え参加者が一挙に増加 小生も参加しているが、水分補給のために持参する 水ボトル、タオル履き替えた靴を忘れてたりする。先日も靴忘れ 後から電話 確かにあります。受付に次回来たら申し出てくださいとのこと。山田さん次回は脳トレもやりましょうね。指導員の弁???

植野晏生：（「文化財の所有と修復」）時々、芝・愛宕をガイドします。その時に、プリンスホテル駐車場の7代将軍家継霊廟二天門というのを見てもらいます。朽ち果てるままの二天門（重要文化財）を見て、大方の人は、憤慨します。旧西武球場横、狭山山不動寺に、増上寺から移築された建物を見に行ってきました。心配した通り、2代将軍秀忠の霊廟から移築した勅額門や御成門（重要文化財）は、あの二天門と同じような扱いを受けているように感じました。

これらの対極にあるのが、熊谷市の**歓喜院聖天堂**です。平成24年に、国宝に指定されました。これは本殿の彫刻に彩色を施し、昔の華麗な姿を甦らせたためです。修復に13億円掛かりましたが、今では年間90万人が訪れる名所となりました。この修復作業をしたのは、小西美術工藝社です。この老舗を立て直した社長はイギリス人で、元金融アナリストです。文化財＝観光資源。観光資源を大事にする発想は、ツツミ一族にはなかったのでしょうか。

町田雅和：「クールジャパン」外国人観光客に普段の「和食」を体験してもらうサービスに、「ホームビジット」という制度がある。英語力はルー大柴レベルでOKとのことなので興味を持ったが、私の住んでいる土気までランチを食べにくる物好きは居なそう。そこで思いついたのが「ごはん処大戸屋」。安い、うまい、メニューが豊富！クールジャパンは大戸屋で！本日は大戸屋の私設広報担当からのお知らせでした。

入江清之：昨今の若者はスマホにどっぷりとはまり込んでいるので、会話をしない、本・新聞も読まない、コミュニケーションも取れない、創造力もない、そして人を思いやれない人間が増えて、人間社会がおかしくなるだろう。今年の4月に信州大学学長が入学式で「スマホやめますか、大学をやめますか」と新生へ語り、さらに今の若者のスマホ偏重や依存症の風情を憂え「スイッチを切って友達と話し、本を読み、自分で考える習慣を身につけ、物事を考えながら行動することで初めて独創性豊かな人間へ成長する」と話したが、私も同感だ。スマート・ホンのスマートは格好良いのほかに賢いとの意味もあるので、若者にはスマホを有効に活用して後者のスマートな人間に成長して欲しい。

佐藤重剛：ベストフィフティ (50位まで) ワシは、一般社団法人 日本マスターズ水泳協会に属する「成田水泳愛好会」メンバーの一員である。この度、同協会が発行した「平成26年マスターズ水泳50傑」の50M平泳ぎの部で50位にワシは名を連ねたのである。50傑ですぞ！どんなもんだい？ 51位じゃ名が出なかったのだぜ！ 尤もベストテン (10位内) とかベストスリー (3位内)、はたまたトップの1位だったら もっと もっと Motto 良かったのだろうが……。この水泳大会は全国規模で全国の各地で年間30数回開かれ、年令5才刻みの各種目で順位を競うものである。(内緒話：ワシは75才以上の短水路50M平泳ぎでタマタマ50位だった。他の平泳ぎの3種目でも25位を筆頭に32位等 50傑内に名を連ねた)

今和泉のり子：(紙上投稿) 梅干しの試食 和歌山へのツアー旅行で、田辺市の梅干し店に行きました。試食というと1個丸ごととと思っていましたが、果肉のみ三日月状の物がきれいに並んでいました。1切れが1個の6分の1程度でしょうか、その1つずつ全種類おいしくいただきました。7個分も食べたでしょうか。減塩、はちみつ漬けもあったというのに、ホテルに泊まった翌朝、目が無くなり、人相が変わる程、むくんでいました。朝食のバイキングの梅干しは1つも食べられませんでした。あの鳥のような目を写真に撮らなかったのが残念です。

中島孝之：最近自転車の乗り方が厳しくなりました。傘をさして乗ってはいけない、反則切符を2枚貰うと講習会を受けなくてはならなくなりました。今日ここに来る途中で公会堂前のスクランブル交差点の手前で大学生風の男に自転車でぶつけられました、彼は自転車に乗ったまま小さな声で「すみません」と云ったのですが、私は「この野郎！」と大声で怒鳴りました。彼は信号を無視して斜めに車をよけながら渡って止めて有った自転車を倒して走り去りました。彼が逃げて行ってくれたから良かったけれど、彼交差点に残っていたら「この野郎！」と怒鳴った手前喧嘩しても大学生に勝つ自信ないし、逃げてくれて私の面目が保たれました。

大塚親雄：その一．2020年には東京オリンピックが開催される。競技では金、銀、銅メダルが授与される。金メダルが一番いいことは自明のことだが銀と銅はどちらがいいか。答えは銅である。なぜなら銅という字は金に同じと書くから。その二．銀製の記念メダルが5千円で売りだされた。喜んで買ったはいいが錆びてしまった。発売元へ文句をいいに行ったら、逆に慰められてしまった。「オリンピックは参加（酸化）することに意義がある」。その三．『筆談ホステス』で知られる耳が聞こえず、うまく話すことができない、斉藤理恵さん東京都北区議選トップ当選した。斉藤さんは私有のパソコンに文字を打ち込み、音声に変換して自分の発言とすることにした。変換（返還）出来ないのがある、歯舞、色丹、国後、択捉である。北方領土問題が解決しない限りは・・・。その四．長い人生には失望、挫折、絶望する事がある。その状態を夜の9時半過ぎの東京駅という。「のぞみ」がない。

関岡直樹：クールジャパンに関連した小噺をいたします。日本食。イギリス人が日本人の魚屋に聞きます。イ：「日本人はクレバーだと言われますが、なぜでしょう。何か秘密があるのですか？」。魚：「それは簡単ですよ。毎日魚を食べるからです」イ：「Oh, I see. では、これから毎日、魚を食べます」。十日ほどして、このイギリス人がぶすつとした顔をしてやって来ました。イ：「毎日魚を食べていますが、クレバーになった気がしません。だましたのではないでしょうね」。魚：「ほらみなさい！十日前よりも、ものがよく分かるようになったじゃないですか」。

長嶋秀治（自由題）：先週火曜日朝起きて腰に違和感を覚えた。前日にゴルフをやりまっすぐ飛ばなくて歩きすぎたせいかな？数日様子を見ていたがあまり改善されないため土曜日に病院に行く。問診の後レントゲン写真を4枚撮る。これといった原因も見当たらない様子で1週間後にまだ痛いようだったら、また来てくださいと薬と湿布薬を処方してくれた。薬のおかげか徐々に改善されているようでほっとしている。改めて健康のありがたさを思い知る。



船橋ユーモアスピーチの会

8月13日

3分スピーチ：「花火」「ペット」「失敗談」「自由題」

ロングスピーチ：「マジックでコミュニケーション」 町田雅和さん

9月10日 場所と時間変更 船橋中央公民館（7月と同じ場所）

10月14日 ユーモアサミット